

経常収支比率の推移

○経常一般財源等（臨時財政対策債含む）

（単位：千円、％）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度比較	
	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	増減額	増減率
地方税	10,404,866	10,628,009	10,735,818	10,911,660	11,100,882	189,222	1.7
地方譲与税	201,760	202,307	204,025	210,868	212,598	1,730	0.8
利子割交付金	12,180	19,047	18,695	9,994	10,863	869	8.7
配当割交付金	53,411	73,231	61,347	69,673	65,046	△ 4,627	△ 6.6
株式等譲渡所得割交付金	39,421	85,608	56,480	45,916	79,189	33,273	72.5
地方消費税交付金	1,269,819	1,351,753	1,483,144	1,442,500	1,785,140	342,640	23.8
ゴルフ場利用税交付金	10,423	9,724	8,231	11,195	18,049	6,854	61.2
自動車取得税交付金	54,034	80,769	73,741	43,706	6	△ 43,700	△ 100.0
自動車税環境性能割交付金	-	-	-	12,771	26,030	13,259	103.8
法人事業税交付金	-	-	-	-	38,629	38,629	皆増
地方特例交付金等	80,823	89,523	106,772	254,376	141,361	△ 113,015	△ 44.4
普通交付税	2,143,796	2,229,303	2,249,465	2,341,327	2,360,059	18,732	0.8
交通安全対策特別交付金	10,457	10,280	10,228	10,302	11,119	817	7.9
使用料・手数料	124,585	125,421	103,532	105,087	107,566	2,479	2.4
諸収入	4,493	7,214	6,588	7,647	7,003	△ 644	△ 8.4
臨時財政対策債	1,044,000	1,212,500	1,251,900	1,098,700	1,003,500	△ 95,200	△ 8.7
合 計	15,454,068	16,124,689	16,369,966	16,575,722	16,967,040	391,318	2.4

○経常経費充当一般財源等

（単位：千円、％）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度比較	
	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	増減額	増減率
人件費	4,654,071	4,621,700	4,595,254	4,449,915	4,554,256	104,341	2.3
物件費	3,241,011	3,241,118	3,239,146	3,330,242	3,376,118	45,876	1.4
維持補修費	444,233	434,815	456,033	445,086	361,618	△ 83,468	△ 18.8
扶助費	2,114,514	2,258,242	2,306,873	2,412,106	2,410,093	△ 2,013	△ 0.1
補助費等	722,143	885,053	898,375	954,393	865,175	△ 89,218	△ 9.3
公債費	2,250,044	2,320,787	2,332,331	2,228,238	2,094,454	△ 133,784	△ 6.0
投資及び出資金・貸付金	0	98,012	69,336	55,335	46,408	△ 8,927	△ 16.1
繰出金	1,977,805	1,843,831	1,881,816	1,953,815	2,080,972	127,157	6.5
合 計	15,403,821	15,703,558	15,779,164	15,829,130	15,789,094	△ 40,036	△ 0.3

○経常収支比率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収支比率	99.7%	97.4%	96.4%	95.5%	93.1%
県平均	90.9%	91.0%	92.1%	93.1%	91.2%
県内順位	54位	53位	50位	39位	—

経常収支比率 = (経常経費充当一般財源等)

÷ (経常一般財源等+減収補てん債特例分+臨時財政対策債) × 100

義務的経費（人件費・扶助費・公債費の計）などの経常的な経費に対して、地方税・地方交付税等の経常的な一般財源収入がどの程度充当されているかを表す指標です。この比率が低いほど経常一般財源の残余が大きく、臨時的財政需要に対して余裕を持つことになり、財政構造が弾力的であると考えられ、比率が高いほど、財政構造の弾力性が失われつつあると考えられています。

